

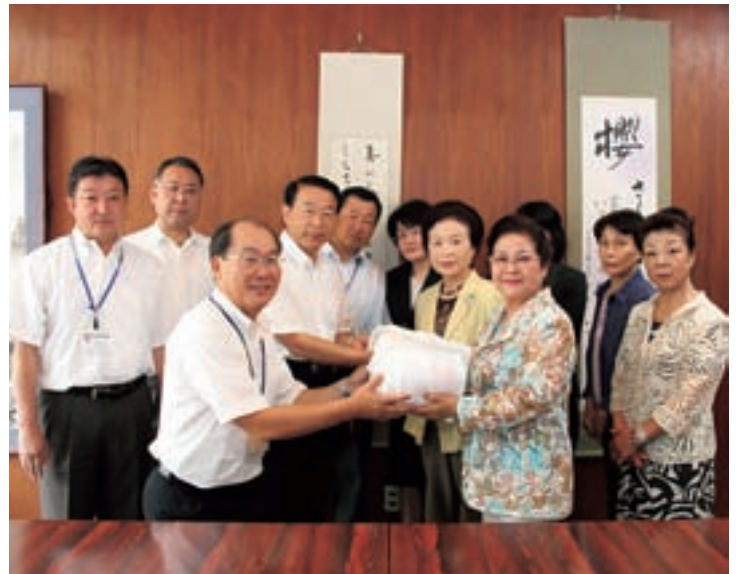
小さな親切で地域に恩返しを

～町老人クラブ連合会女性部会・手作り雑巾贈呈～

6月25日（火）町老人クラブ連合会女性部会（堀明美会長）が手作りの雑巾を町内の小中学校に300枚、保育園に200枚贈呈しました。

これは同部会が『地域社会に感謝の気持ちを』という思いから、毎年この時期に行われています。

当日は同部会代表4人が中央公民館を訪問。各校長と園長に「これは私たちだけではなく、この活動に賛同していただく方々のまごころも込められており、ひと針ひと針縫った手縫いの雑巾です。これからも小さな親切運動を通して地域に恩返しをしていきたいです」と言葉を添えて、笑みを浮かべながら優しい表情で手作りの雑巾を手渡しました。



▲ 手作りの雑巾を贈呈する様子

人権普及活動に多大な貢献

～退任人権擁護委員感謝状贈呈式～

7月5日（金）安八町役場で、今期で町人権擁護委員を退任された堀久子さんに、法務大臣からの感謝状が贈呈されました。

当日は、井上岐阜地方方法務局大垣支局長が堀久子さんに感謝の言葉を添えて代理贈呈。

堀さんは平成9年に町人権擁護委員に任命され、以後5期（15年）にわたり、学校訪問や保育園を中心とした子ども創作劇の開催など、子どもたちへ人権についての理解を深める活動にご尽力されてきました。

感謝状を手にした堀さんは「この活動を通して人権の大切さを学びました。これからは個人として人権普及に努めていきたいです」と笑顔で話していました。



▲ 法務大臣からの感謝状を手にする堀久子さん

大自然を満喫！！

～ネイチャーキャンプ in 旭～

7月6日（土）・7日（日）の2日間、町子ども会育成協議会（白木康貴会長）が、愛知県の旭高原少年自然の家でインリーダ研修会を開催しました。

この研修会には小中学生81人を含む100人が参加。自然と親しみ、集団行動やリーダーとしての資質向上、そして仲間との親睦を図ることを目的として毎年実施しています。研修を通して子どもたちは、リーダーとして一回り成長し、頼もしい表情になっていました。



名森小学校 なかの はるか 中野 遥 さん

この活動を通じてたくさんの仲間たちと友だちになることができました。



▲ カヌー体験を通し大自然の中で一回り成長した子どもたち